

# 西濃地区英語教育推進校 大垣市立中川小学校

## 【研究主題】 主体的にコミュニケーションを図ることができる児童の育成

### 1. 個別最適な学びを実現するための学習者用デジタル教科書の活用

- お互いのことをよりよく知るために、できることやできないことを伝え合う言語活動において、教師からの全体指導（Sharing Time）だけでなく、自分の課題に応じた学び方を自分で選択できる時間を位置付け、その中で子どもたちが必要に応じて学習者用デジタル教科書を活用する授業が行われていました。学習者用デジタル教科書の活用に限らず、授業者やALT、学級の仲間との相談・練習等、様々な方途で、個々の課題解決に向かう姿が見られました。



必要に応じて、学習者用デジタル教科書のモデル動画等で発話内容の確認や発音の練習を行う姿があります。

#### ～中川小から学ぶ！学び方を自分で選択できる時間の充実を図ることにつながる日頃からの取組～

- 子どもたちが主体的に取り組めるように、絶えず言語活動を工夫している。
- 子どもたちが普段から学習者用デジタル教科書を活用し、様々な機能を知っている。
- ALTの先生等が親しみやすい雰囲気に関わり、子どもたちが抵抗感なく関わっている。外国語の教員免許をもたない教員も積極的に英語を使用し、児童が安心して先生に質問したり、分からないことを分からないと言える雰囲気をつくったりしている。
- 教師が単位時間や単元における個々の伸びや変容を的確に捉え、価値付けている。

### 2. 教科の本質を踏まえた評価の在り方

- 「単元の目標と評価規準」を踏まえた「指導と評価の計画」において、指導に生かす評価（・）、記録に残す評価（○）という表記を用い、それぞれ何を見取るのかを明確にしています。このことが、1で記した「教師が個々の伸びや変容を的確に捉える」ことにもつながっています。加えて、ALT等とのチームティーチングにおいても、何を評価すればよいのか共有しやすくなっています。

評価規準	思判表	・家族が喜ぶ形を作るために、必要なものについて、形や色、数に着目して伝えている。（話）	○自分がお世話になっている人に喜んでもらうカードを作るために、必要な形や色について、簡単な語句や表現を用いて伝え合っている。（話）
	主体	・家族が喜ぶ形を作るために、必要なものについて、形や色、数に着目して伝えようとしている。（話）	○自分がお世話になっている人に喜んでもらうカードを作るために、必要な形や色について、簡単な語句や表現を用いて伝え合おうとしている。（話）
		第3時	第4時

- ◎伝える相手など、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に少しずつ変化を加え、漆塗りのように何度も似た言語活動に取り組みせながら学ぶ単元構成
- ◎指導に生かす評価を行う時間においても、どの観点で何を見届けるのかまで具体的に「指導と評価の計画」

- 言語習得には時間がかかります。日々の授業の中で児童の学習状況を適宜把握して指導の改善に生かすこと（指導に生かす評価）に重点を置くことが重要です。また、観点別の学習状況についての評価（記録に残す評価）は、毎回の授業ではなく原則として単元や題材など内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、その場면을精選することが重要です。